



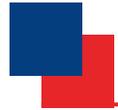
2020年10月期 第2四半期

決算補足資料

東証JASDAQ 証券コード3974
株式会社 ティビィシー・スキヤット

利益を重視した新しい成長戦略への移行

1. 決算ハイライト
2020年10月期 第2四半期決算概要
2. 2020年10月期 業績見通し
3. トピックス（各セグメントの取組み）



決算ハイライト

2020年10月期第2四半期決算概要

全社

美容ICTは新型コロナ感染防止のため、顧客サービス業務はオンラインリモートでお客様に柔軟対応。商談・納品等の営業活動自粛。介護ビジネスは感染対策強化で施設入居稼働率95%を維持で善戦。中小企業ビジネスサービスはクライアントのコロナ自粛で売上げ減少。

売上高：1,314百万円 前期比 2.5%増
営業利益： 81百万円 前期比 18.8%増

美容サロン
ICT

消費税特需の反動による受注減の予想に反し、受注は順調にスタートしたが、コロナ禍により美容サロン自体の営業自粛が続き、4月以降の営業訪問活動はほとんどできなかった。受注残の納品延期申し出も少なくなかった。ASPコンテンツサービスの解約は殆ど無し。

売上高： 754百万円 前期比 3.0%増
営業利益： 39百万円 前期比 60.9%増

ビジネス
サービス

個人事業者向けの会計サービスが、既存客の休業・廃業などの影響により減収・減益。当面は補助金・助成金等のコンサルサービスに注力

売上高： 167百万円 前期比 5.0%減
営業利益： 4百万円 前期比68.1%減

介護
サービス

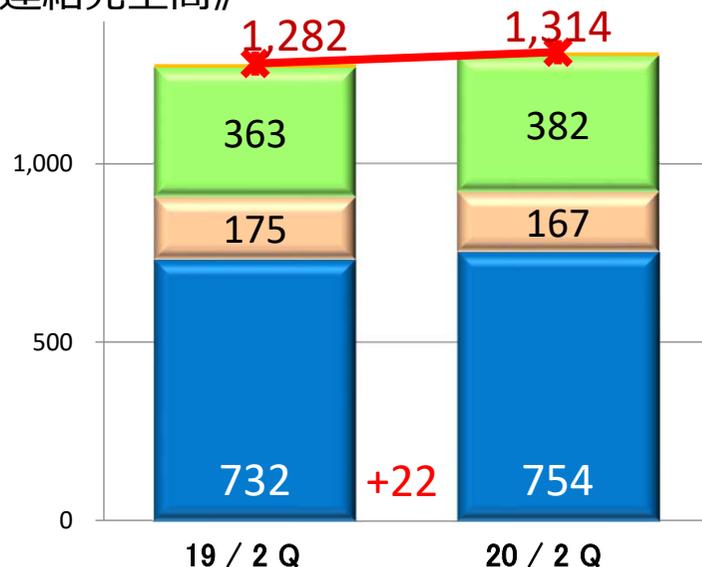
介護付き有料老人ホームの高い入居率維持（年間95%超）。コロナ集団感染防止のため施設内消毒等の衛生管理の徹底、介護予防・通所介護等の外来型サービスの利用控え

売上高： 382百万円 前期比 5.3%増
営業利益： 29百万円 前期比 32.9%増

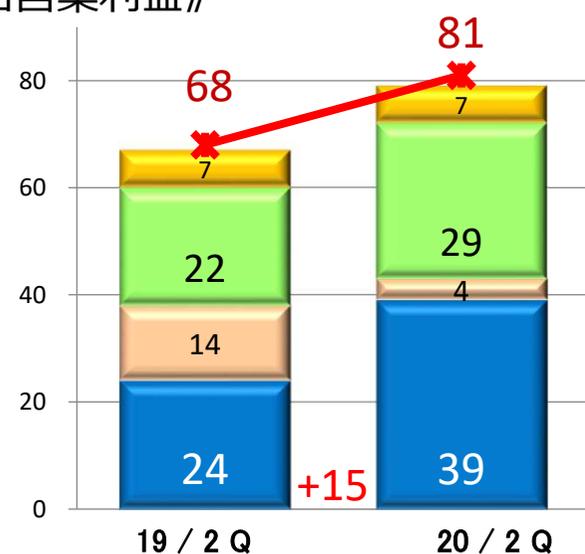
2020年10月期 第2四半期連結決算の概要（2期損益）



《連結売上高》



《連結営業利益》



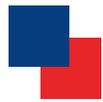
単位：百万円

■ 美容サロン向けICT事業
 ■ 中小企業向けビジネスサービス事業
 ■ 介護サービス事業

《連結決算概要》

単位：百万円、%

	2019/10期 2Q		2020/10期 2Q		対前期(2Q)	
	実績	売上比	実績	売上比	増減額	増減比
売上高	1,282		1,314		32	2.5%
売上原価	743	58.0%	771	58.7%		
売上総利益	538	42.0%	542	41.3%		
販管費	470	36.7%	461	35.1%		
営業利益	68	5.3%	81	6.2%	12	18.8%
経常利益	68	5.4%	83	6.3%	14	20.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	44	3.5%	51	3.9%	6	13.6%



セグメント別四半期趨勢 (Q on Q)



《セグメント売上高》



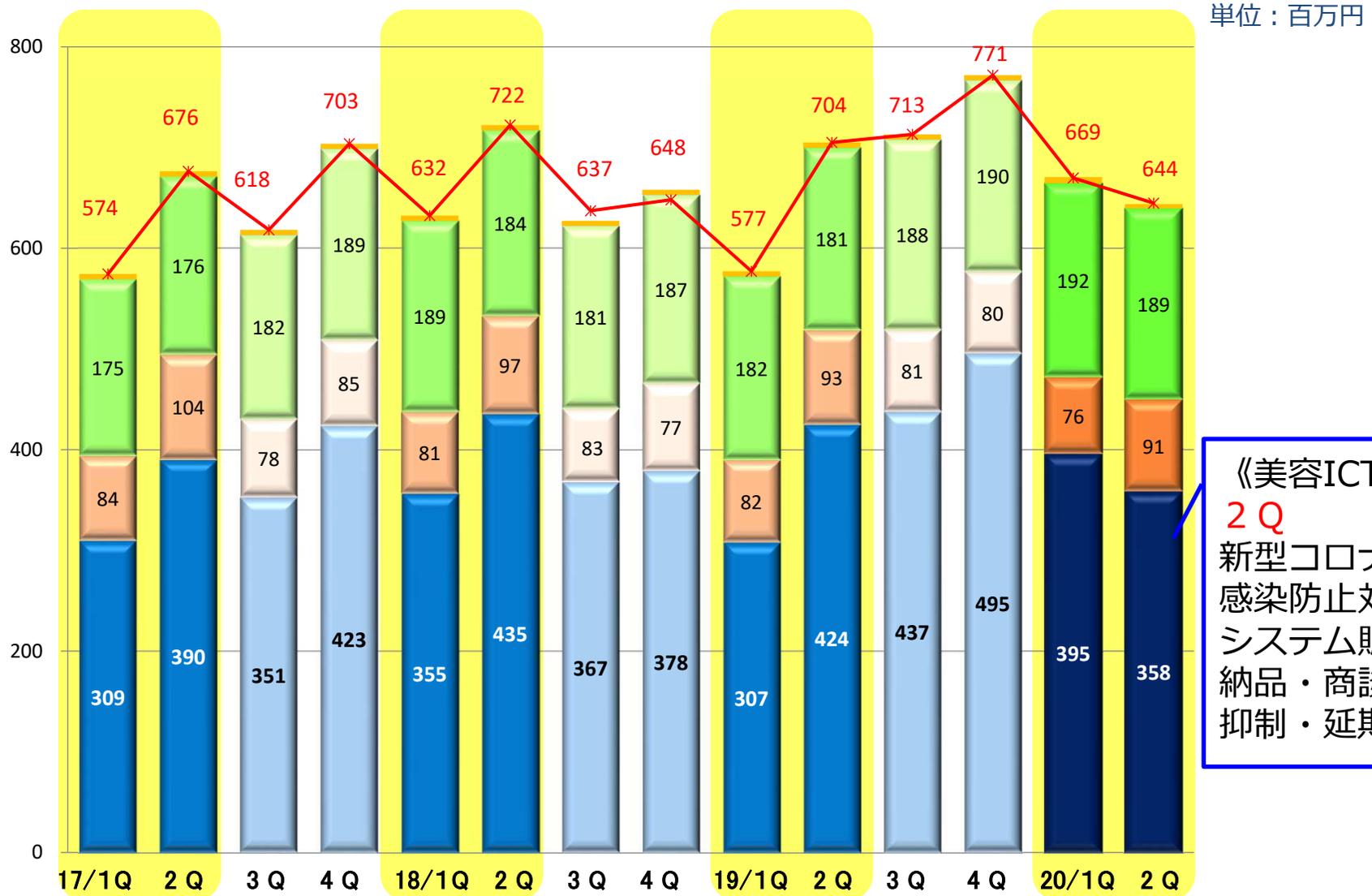
美容サロン向けICT事業



中小企業向けビジネスサービス事業



介護サービス事業



《美容ICT》
 2 Q
 新型コロナ
 感染防止対応
 システム販売
 納品・商談の
 抑制・延期

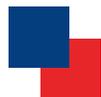
2020年10月期第2四半期連結決算（財務概要）



単位：百万円

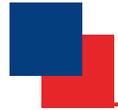
	'19/2Q	'20/2Q	差異	差異要因
流動資産	1,609	1,736	127	
現預金	1,269	1,364	95	
売掛金	270	213	△57	
商品・仕掛品ほか	69	159	90	納品に伴う在庫確保・カスタマイズ仕掛増・前払費用
固定資産	1,717	1,693	△24	
有形固定資産	1,270	1,237	△33	介護施設等の減価償却
無形固定資産	252	261	9	
ソフトウェア	114	71	△43	自社制作パッケージ商品の償却
ソフトウェア仮勘定	30	100	70	次商品制作
のれん	103	88	△15	のれん（VID社株式取得）償却
その他資産	194	195	1	
資産合計	3,327	3,430	103	

	'19/2Q	'20/2Q	差異	差異要因
負債	1,282	1,257	△25	
流動負債	398	452	54	
固定負債	883	805	△78	子会社（介護）借入返済、役員退職慰労金支給
純資産	2,044	2,173	129	利益剰余金の増加
株主資本	2,044	2,173	129	－
利益剰余金	1,755	1,883	128	営業活動による利益増、配当金支払による減少
資産合計	3,327	3,430	103	

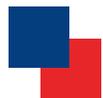


単位：百万円

項目	'19/2Q	'20/2Q	要因
営業キャッシュ・フロー	△15	△12	税金等調整前四半期純利益 82百万円 売上債権の増加 △24百万円 退職給付による負債の減少 △15百万円 法人税等の支払額 △55百万円
投資キャッシュ・フロー	△81	△46	固定資産取得（ソフトウェア等）
財務キャッシュ・フロー	△65	△69	長期借入金返済（介護）・配当金支払い
現金及び現金同等物の増減額	△162	△128	
現金及び現金同等物の期首残高	1,432	1,492	
現金及び現金同等物の期末残高	1,269	1,364	



2020年10月期 業績見通し



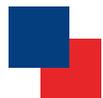
■ 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組み

- ✓ コロナ対策プロジェクト発足（責任者：安田社長）
- ✓ 感染予防の徹底と感染時の職場対応マニュアルを策定
- ✓ 営業時間短縮、時差出勤、テレワーク導入（出社率約7割減）
- ✓ WEB活用による社員の体調管理（検温・報告を毎日徹底）
- ✓ 社内でのマスク着用・感染防止用ビニールカーテン装着
- ✓ 介護サービスでは集団感染防止のため消毒・衛生管理徹底
- ✓ 健常者介護予防・通所介護の休業

■ 新型コロナウイルスによる業績への影響

- 美容サロン向けICT事業の主要顧客である美容サロンが経営に大きな影響を受け、緊急事態宣言解除後の消費者動向により、システム販売の**商談と納品時期のズレ**が発生。
- 楽天ポイント連携や予約等のWEBコンテンツの課金型ストック収益は拡充。（受注は確保）
- 中小企業向けビジネスサービスの顧客層である中手企業の業容回復は長期化する見込み。
- 介護サービス事業では、集団感染防止策を継続して実施。

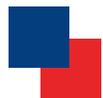
通期の業績予想について、現時点では合理的な算定が困難



■通期業績予想について

現時点においては、合理的な算定が困難なため
通期業績予想は「**未定**」といたします。
見通しが確定した時点で開示いたします。

	前回予想	第2四半期	進捗	今回予想
売上高	2,783	1,314	47.2%	—
営業利益	223	81	36.3%	—
経常利益	223	83	37.2%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	139	51	36.7%	—



■ 配当予想について

現時点においては、合理的な算定が困難なため
 通期業績予想は「未定」といたします。
 見通しが確定した時点で開示いたします。

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合計
前回予想（令和元年12月12日）	—	29円00銭	29円00銭
今回実績及び配当予想の額	00円00銭	未定	未定

(参考) 配当実績

	年 間 配 当 金			前年度増減額
	第2四半期末	期 末	合計	
令和 元年10月期実績	00円00銭	26円00銭	26円00銭	3円増配
平成30年10月期実績	00円00銭	23円00銭	23円00銭	3円増配
平成29年10月期実績	00円00銭	20円00銭	20円00銭	5円増配



《本資料に関する注意》

- この資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料において提供される情報は、「見通し情報」を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。

IRならびに本資料に関するお問合せ先

IR担当者： 経営企画室 室長 高橋 栄

E-mail : ir@tbcscat.jp

電話 : 03-5623-9670

株式会社 ティビィシー・スキヤット